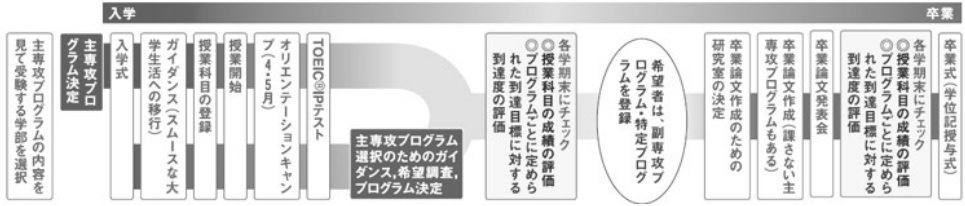


入学から卒業までの主な流れ



「到達目標型教育プログラム」の大きな特徴のひとつは、これまでにない新しい学習成果の評価方法を導入したことです。従来から行われている授業科目の成績の評価に加えて、主専攻プログラムで卒業までに到達して欲しい目標(到達目標)に皆さんがどの程度到達しているかを学期ごとに示すようにしました。

これにより、卒業までに身に付けて欲しい力を皆さんがどの程度身に付けているのかをより具体的に把握することができ、効果的な学習を続けていくことができます。

授業科目の成績の評価

授業科目の成績は次のとおり評価し、学期ごとに通知します。

秀, 優, 良, 可, 不可の5段階評価とし、秀, 優, 良, 可を合格とします。



プログラムごとに定められた到達目標に対する到達度の評価

プログラムごとに定められた到達目標の具体的なチェック項目について到達度の評価を行い、基準を満たした場合は、「非常に優れている」、「優れている」、「基準に達している」の3段階で、学期ごとに評価を通知します。

経済学部(昼間コース)「現代経済プログラム」による学習の成果
(身につく知識・能力・技能)(1)

学習成果	具体的に身につく知識・能力・技能	授業科目
知識・理解	(1) 自主的に学習し、適切に自己表現する能力	教養教育科目
	(2) 情報処理や情報の受発信に関する知識	
	(3) 外国語でコミュニケーションができ、異文化理解のために外国語を活用する能力	
	(4) 専門とは異なる学問分野に対する理解力	
	(5) 専門分野の学習に不可欠な基礎知識	専門基礎科目
	(6) 経済問題の数理的分析手法に関する基礎知識	
	(7) 経済問題の歴史的分析に関する基礎知識	
	(8) 経済問題の理論的分析に関する基礎知識	

経済学部(昼間コース)「現代経済プログラム」による学習の成果
(身につく知識・能力・技能)(2)

学習成果	具体的に身につく知識・能力・技能	授業科目
知的能力・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○経済理論、統計学、計量経済学等に関する知識を応用して、数理的分析を展開する能力 ○経済史、経済学史、政治経済学等に関する知識を応用して、歴史的的分析を展開する能力 ○経済政策、国際経済学、経済事情等に関する知識を応用して、政策課題を分析・検討する能力 ○財政学、金融論等に関する知識を応用して、生活に密着した問題を解決する能力 	専門科目
実践的能力・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○現代社会の経済問題に対して数理的手法を用いて分析・予測する能力 ○社会経済現象を長期的な歴史的視野から検討する能力 ○現代社会の経済問題や政策課題を解決するための政策を立案する能力 ○現代社会の経済問題に対して実践的応用理論を用いて分析・検討する能力 	演習
総合的能力・技能	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーション能力 ○プレゼンテーション能力 ○問題発見・課題解決能力 	卒業論文指導

15

ご静聴ありがとうございました。

16